

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生三)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 宮島克利

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1

TEL 0550-83-1999

FAX 0550-82-5189

<http://www.jyuji.ne.jp>

e-mail:info@g.jyuji.or.jp

印刷/岳麓印刷株式会社

2013
No.203

[聖句] 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



2013年09月14日 御殿場十字の園・園遊会
演劇『深沢黄門』(水戸黄門漫遊記)

イルド

理事長 平井 章

来年四月に御殿場十字の園のグループホームが、御殿場登山道発祥の地(富士登山東表口)の隣に完成します。だから、裾まで広がる雄大な富士山の姿が見えます。西田中八幡宮に「石碑」と「説明板」がありました。

「明治六年、女性や子供でも気軽に登れる新しい登山道が生まれ、地元有志らによって新しい登山道の開鑿運動が始まり、明治十六年五月完成。八月に開道式が行われた。」とありました。今は登山道としては使われていませんが、この道は、一直線に富士山の山頂を指しているようです。

ユニットケアは「その人らしさが入口で、出口は地域だ」と言っています。「その人らしさ」は出来ました。その経験を生かして次の山に挑みます。「特養を出て地域で生活する」「特養を出て最期を自宅で」という地域移行への挑戦が始まりました。グループホームを皮切りに、日本一を目指しましょう。

「自立支援」について考える

御殿場十字の園施設長 宮島 克利

当施設では、昨年度から全国老人福祉施設協議会による科学的介護実践講座（介護力向上講習会）に参加し、「自立支援介護」に取り組んでいます。そのこともあつて、特に最近では、自立支援という言葉がよく使われるようになりま

した。しかし、「自立支援とは何か」と改めて問われると、その答えは、意外と曖昧なものとなつてしまい、職員間でも認識の違いがあるように思えます。そこで、改めて自立支援について整理し、考えてみました。そもそも自立支援という言葉がいつごろから使われるようになったかという点、当法人で言えば、それは設立当初からです。法人の設立の目的を示す定款第1条には次のようにあります。「この社会福祉法人は、キリスト教の精神に立つて、（中略）利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう

に支援する」とあります。また、自立支援は社会福祉法の中でも、福祉サービスの基本理念として規定されており、介護保険法の目的でもあります。つまり自立支援とは、社会福祉、介護の基本理念であり、私たちの支援はすべて自立生活の実現に向かつていると言えます。

では、「自立」とはどのようなことなのでしょう。上田敏氏（リハビリテーション医学者）によると、「全面的な介助を受けていても利用者の自己選択・自己決定権が最大限尊重されている限り人格的には自立している」と日本社会福祉士会編集「新社会福祉援助の共通基盤」にあります。そのことから、自立とは、自らが自己選択・自己決定を行い主体的に生活することであり、それを支援することが自立支援であると言えます。したがって、一人ひとりにとつての自立のあり方は必然的に異なるも

十字の園大会

地域包括支援センター 村上 洋美



十字の園大会は今年で十八回目を迎えます。私は入職三年目で初めて参加させて頂き、学ぶ事の多かった二日間でした。

この大会の目的は十字の園の理念を継承するため開催されています。

今年のテーマは『絆く共に生きるを考える』です。東日本大震災から2年半が立ちその時に叫ばれた『絆』改めて今自分たちが

出来る事はなんだろう…：絆とは？を考える良い機会となりました。

課題講演では被災地石巻から福祉仮設住宅『石巻・開成のより処あがらいいん』の活動を聞くことが出来ました。管理者の橋本泰典さんは震災支援ネットワークを切掛けにこの運営を担当する事になったそうです。ここで

の一番の目的は、今もなお仮設住宅に住み辛い体験をして来た方達に対して、「この活動が将来の暮らしの支えになるような、良い時間として残って欲しい」と言う思いでいるとのお話がとても印象に残り高橋さんの優しい人柄に触れ、素晴らしい活動だと共感する事ができました。

各施設からの発表はそれぞれテーマに添った、

施設の特徴と前向きな取り組みが伝わってくるものでした。御殿場の発表は今年度から始めた介護者家族「絆の会」についてでした。始まって間もない「絆の会」ですが課題も明確化できたので、今後さらに皆様との絆を深められるよう、真摯に取り組んでいきたいと思えます。

今回発表者として参加させて頂いた事は、貴重な体験となり本当に感謝しております。



ので、自立支援は極めて個別
的な支援でもあります。

このことは、認知症などに
より意思表示が困難になって
きている方でも同じだと思っ
ています。意思表示の内容や
程度は異なっているものの、そ
の人に合った意思表示の方
法や内容があるはずで、むし
ろ私たち援助者がそのこと
をどこまで個別的に見極め
ることができるかが支援の方
向性を大きく左右します。

その際に欠かせないのは、個
人の尊厳を常に意識し、変化
向上する可能性を秘めてい
ることを確信して、その人に
適した意思表示の方法や程
度を模索し続けることです。

ユニットケアはその為に、と
ても有効な方法です。馴染み
の関係を築き、主体性と意思
を安心して表わしていけるよ
う、また汲み取っていけるよ
う目指します。四人部屋が
七割程度を占める従来型施
設で、ユニットケアの在り方は
発展途上ですが、まだまだよ
り良くするいろんな可能性
を秘めています。これからも
ユニットケアは、重点テーマと
して、創意工夫し取り組んで

いきたいと思えます。

また、自立支援を展開す
るには、利用者の方をトータ
ルに理解しようとする、総合
的に支援していくことが必要
です。そこで、WHOの国際生
活機能分類（ICF）が役に
立ちます。心身機能・構造・
活動、参加の総称を「生活機
能」と言い、さらに健康状態、
環境因子、個人因子がそれ
ぞれ相互に色々な影響を与
えるという関係の概念です。

現在、取り組んでいる自立
支援介護は、「水分」「栄養」
「排便」「運動」を基本とした
ケアです。健康状態を先ず良
くし、意識障害の予防改善や
歩行の向上など心身機能の
維持向上を図り、活動の向
上や参加の促進を目指して
います。つまり、自立支援介
護は、その人らしい暮らしの
実現に向かって支援する基本
ケアであると言えます。これ
からも、しっかりと基本ケア
を行いながら、本人の希望す
る方向に向かって、それこそ
看取りの時まで絶えず見直
し、変更しながら自立支援を
継続していきたいと思えます。

リハビリについて

作業療法士 橋本 知美

現在、「私たちの自立支
援は相談対応をメインに
置いています。リハビリ
に求められる事は主に『立
位保持』『歩行』『トイレ
動作』です。これ等の単
語のイメージは頭に浮か
ぶと思うのですが、リハ
ビリを開始するとご本人・
介護士と三人で額を突き
合わせ試行錯誤を繰り返
すことになり、四文字熟
語『十人十色』の意味を
噛みしめることになりま
す。

具体的な対応の一例と
して、歩行が難しい方に
エスカルゴという器具を
用い自転車こぎの運動を
行います。この器具の利
用で、転ぶのを怖れるあ
まり車椅子を常用してい
た方が、自力歩行出来る
ようになった実績があり
ます。非常に嬉しい事です。



しかしながら、同じ手
法を全てに無理強いする
ことは非常に愚かしい。
私たちに必要な事は『転
ぶのを怖れるあまり』と
いう真実を見つけ出し回
避・克服する手段を見つ
け出していく事。個々に
おいて出来る事、出来な
い事を相談し合い、互い
に見極めながら立案・実
行して行くという事です。
これが即ち相談対応です。
身体的な支援のみではな
く『喜び』『楽しみ』にウ
エイトを置いた精神的安
定を図る支援の一つ『い



八月一日(木)に行われた今年の夕涼みは、前日夜の雨音が恨めしく朝からはっきりしない天候で始まりました。今年中は庭で行うか、それとも施設一階フロアーで開催しなければならぬかで悩みながらも準備を行っていきりましたが、午後になつて少しづつ雲間から青空が見え始め、中庭で行なう事が出来て一安心しました。年に一度のイベントではありますが、施設に住まう方々、施設を利用して下さっている皆さん、御家族、そして職員が『夏』を感じることでできる時間を一緒に過ごせたのではないかと思います。

周りを見渡すと、どこを向いても皆さんが笑っている顔が目に入ってきます。盆踊り、

夕涼み会



模擬店はいかがでした? 皆さんが空を見上げて「おおっ」と感嘆の声をあげられ「良かったよ」「きれいだったね。」と言って下さった花火は、楽しんでいただけたでしょうか?

今年と同じように来年もその先も皆さんの笑顔が溢れ、楽しんでいただけたらと思います。ありがとうございます。

二階寮棟 堀田良

今年の園遊会は例年とは異なり参加して頂ける、言ってみれば参加型の園遊会の開催を目指して早くから準備をしてきました。

当日、開催されたプログラムの中で好評だったのは有志による合奏でした。余暇活動を目的に音楽好きな方々が集まって発足した、その名も『生き生きクラブ合奏団』に「日頃の練習の成果を発表して頂きましょう。」ということと今回、園遊会式典での演奏を願いました。

当初、楽器の音がフロアーの隅々まで届くだろうか心配しましたが、それは杞憂にすぎませんでした。ハンドベルやトーンチャイムの優しい音色はフロアーに響き渡り、聞き入る人々に会場が温か

園遊会



い空気に包まれました。

合奏に参加した方からは「楽しかった。」「上手く出来てよかった。」「とたくさん笑顔と満足の声が聞かれました。

素敵な演奏をして下さった合奏団の皆様、十字の園の利用者皆様の御健康と御長寿を心よりお祈りしています。

二階シヨートステイ
前田理沙

ケアハウス

御殿場アドナイ館

◆南米音楽を楽しみました◆

先日フォルクロレという関東の学生のボランティアグループの方々が珍しい南米音楽を演奏しに来ていただきました。楽器もサンポーニヤ、ケーナなどという今まで見たこともないものばかりでした。曲は有名な「コンドルは飛んでいく」からリズムカルな曲、中には掛け声が入る曲や思わず踊りだしたくなるような曲で、入居者の方も一緒に手拍子や実際に楽器をお借りして一緒に演奏するなど楽しい時間を過ごしました。演奏後は学生の方々と楽しくおしゃべりをして過ごしました。



〈ボランテニア紹介〉

「音楽隊の旅」

関東学生フォルクローレ音楽隊 訪問旅行



事の発端は、一通の懇切丁寧なお手紙を頂戴したことから始まります。差出人は「関東学生フォルクローレ音楽隊」。東京大学、慶應義塾大学、日本大学の学生さんが毎年夏休みに音楽を演奏する「訪問旅行」を行い、ボランティアとして日本全国の社会福祉施設等を訪れてくれています。今年も静岡県の施設を訪問されているとのこと、お迎えしました。

フォルクローレは南米音楽のひとつです。一口に南米音楽と言ってもボレロ、タンゴ、サンバ、そしてサルサ等多くが思い起こされます。アンデス系に属するこのフォルクローレは、知らず知らずリズムに乗って体を動かしてしまおうという点では、やはりラテンミュージックだと思いますが、演奏して下さった曲・そして最も有名な曲の一つ「コンドルが飛んでいく」を目を閉じて聞けば、民族衣装を身に纏い山岳地帯の細道をラマを伴い歩く姿が浮かびます。澄んだ音色が響き渡



るこの心地良さは、他の系統とは一線を画しているように思います。これでポリビア料理サルテーニャやアデス高地の蒸し料理が目の前にあれば最高なのですが・・・。

演奏をしてくださった八名の方々は、私共施設に泊られ翌日清水区の施設に向かわれました。短い時間でありながら楽しくそして質の高い演奏をして下さったことに感謝いたします。

また来園されてスケジュールが合うならば、是非とも秋の施設イベント『園遊会』等で演奏していただきたいと思います。

お菓子パーティー

管理栄養士 千田 晶子

お菓子パーティーは、手作りのお菓子を五〜六品準備して催されます。参加された方は、その中から三つを自分で選んで召し上がっていただきます。

企画の目的は、自身で好きなお菓子を選ぶ（判断を自分で行う自主性を尊んでいただく事）と、職員を含むまわりの方々と一緒にお茶の時間を楽しむ（社交性・集団生活等に慣れていただく事）二点にあります。

現在はデイサービスと特養で年二回開催されていて、参加された方の中には「どれにしよう」と真剣に悩んで「全部食べたい。」と嬉しい悩みを言っておられる方もおられます。

今後お菓子のレパートリーを徐々に増やして、さらに皆様に楽しんでいただけるイベントにして行けたらと思います。おもしろいかな。またやっつね。「つぎは

いつ？」と頂戴する言葉が厨房職員のお励みになって居ることをお伝えして報告とさせていただきます。

秋刀魚

ふじざくら 深沢 直子

季節を感じる行事の一つとして『くろっちょ』と合同で秋刀魚パーティーを行いました。煙と闘いながら団扇で扇いで下さった男性達と、主婦に戻って手際良く豚汁用の葱を切っている姿が印象的でした。炭火で焼き上がった秋刀魚に大根おろしとすだちの果汁をかけて「さあ!!いただきます。」

皆しばらくの間、秋刀魚とにらめっこしてどこから食べようか迷っていましたが、匂の香りには勝て



ず、数秒後には誰もが、せわしなく箸を皿と口の間に行き来させていました。今が旬の脂が乗った美味しい秋刀魚に舌鼓を打って、思わず笑顔がこぼれる暖かい食事会でした。

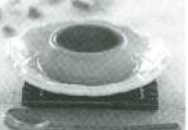
お菓子パーティー



フルーツクレープ



スイートかぼちゃ



matchaプリン



シアチースクーキ



白玉ぜんざい

献金下さった方々

敬称は略させていただきます

7月分

伊勢田きぬ、斎藤秀夫、大野原建設工業、長田さだ子、高村さよ子、関野なほみ、大村浩幸

8月分

大野原建設工業、須崎トシ子・伸子、麻生邦雄、山崎れい子、東山青年団、鮎沢青年団、小宮山年男、鈴木艶子、中島善子、小松保、西村正子、ロッキイワタ、岡本克子、門間和子、岡田和満

9月分

大村浩幸、加藤喜美子、麻生邦雄、岩田富雄、岩瀬年子、山崎れい子、須崎トシ子、伸子、小宮山光文、小宮山亨

協力ボランティア

敬称は略させていただきます

7月

中里京子、市野はつ、高橋文夫、不二聖心高校生、厚生年金婦人会、玉穂婦人会、みくりや友の会、東山婦人会、高橋浩子、勝又町子、ビューテ

8月

イーサロン山田、ナカノ美容室、東小学校、不二聖心母の会、春の会、芹澤菊江、アドナイ館、貢宝会、御殿場教会、赤十字奉仕団、なでしこ会、鈴の会、隆生会、春風一路、市婦連福祉グループ、菅原幸和、クレル美容室、神保久美子、勝又えつ、重野美枝子、井沼千代、金子治療院

みくりや友の会、市婦連福祉グループ、なでしこ会、東山青年団、鮎沢青年団、深沢婦人会、たかねかしわ会、厚生年金婦人会、市野はつ、レインポーハート、斎藤淑子、印野はさまの会、赤十字奉仕団、御殿場高校、中里京子、アドナイ館、AKI美容室、弥生会、隆生会、御殿場民謡グループ、御殿場教会、春風一路、菅原幸和、鈴の会、重野美枝子、井沼千代、勝又えつ

9月

みくりや友の会、AKI美容室、中里京子、市野はつ、厚生年金婦人会、勝又町子、中垣内紀子、関根保子、芹澤菊江、なでしこ会、市婦連福祉グループ、アドナイ館、井上すすみ、桜花会、フォルクルーレ音楽隊、御殿場教会、赤十字奉仕団、琴音会、不二聖心母の会、高橋浩子、渡辺弘子、鈴の会、東山婦人会、クレル美容室、神保久美子、菅原幸和、重野美枝子、井沼千代、池谷知子

御殿場十字の園へのご寄付

7月分	7件	106,500円
8月分	15件	177,000円
9月分	9件	106,000円

7~9月分
合計31件 389,500円

ご献金、ご献品心より感謝申し上げます。

郵便振替口座

口座番号 00870-9-190162

口座名称

社会福祉法人十字の園
御殿場十字の園

ご連絡下されば振替用紙をお送りいたします。

ふれあい広場

御殿場デイサービスセンター
勝俣 和也

今回のふれあい広場は好天に恵まれました。毎年参加させていただいておりますが、準備した飲み物もほぼ完売し、来場者の増加を実感しています。この日はまた私達にとって他の事業所の方々と情報交換が出来る日でもあります。

会場を見回すと、生まれて間もないお子さんを抱いたご家族や、夫婦で寄り添って参加されているお年寄りが多く目に留まります。文字通り人々の『ふれあいの場』として根付いてくれたと感じます。

今年三十回目の開催を記念して芸人トータルテンボスの漫才が会場を盛り上げていました。

多くの方との触れあいと多くの発見を喜びに、これからも参加していきたいと思っております。

あとがき

ミシユラン東京二〇〇八に収録された三ツ星店は八店。その一つに料亭・玄治店濱田家（げんやだなはまだや）があります。歌舞伎『与話情浮名横櫛』（よわなさけうきなよこぐし）の舞台になったお店。もう少しわかりやすく言うところの演目は春日八郎の名曲『お富さん』のルーツ。二〇〇六年には旧歌舞伎座で片岡仁左衛門が与三郎、坂東玉三郎がお富を演じています。今年には俄かに古典芸能が脚光を浴び、深まる秋から冬を彩っています。その合間に、ふと手を伸ばした傍らにそこはかとなくこの機関誌が居てくれたらと思います。（やまもと）

